令和2年度

第6回千葉市農業委員会総会議事録

千葉市農業委員会

千葉県農業委員会総会議事録

令和2年8月7日、千葉県農業委員会会長 長谷部 衡平は、令和2年度第6回千葉県農業委員会総会を千葉中央コミュニティセンター8階千鳥・海鷗に招集した。

<会議に付した議案>

議案第1号	農地法第4条の規定による許可申請について	1件
議案第2号	農地法第5条の規定による許可申請について	11件
議案第3号	相続税の納税猶予に関する適格者証明願について	2件
議案第4号	生産緑地に係る農業の主たる従事者証明願について	2件
議案第5号	千葉県農用地利用集積計画(案)の決定について	12件
議案第6号	農用地利用配分計画(案)の意見について	2件
報告第1号	農地法第3条の規定による許可処分の取消願について	1件
報告第2号	農地法第3条の3の規定による届出について	4件
報告第3号	農地法第4条第1項第8号の規定による届出について	20件
報告第4号	農地法第5条第1項第7号の規定による届出について	28件
報告第5号	農地法第18条第6項の規定による通知について	2件
報告第6号	地目変更登記に係る照会に対する回答について	9件
報告第7号	千葉県農業会議への諮問に係る答申について(第5条)	19件

<出席委員> (17名)

1番	小川友安	2番	浅川政明
3番	深谷耕司	4番	齊藤元治
5番	清宮惠理子	6番	槁本泉
7番	長谷川秀明	8番	横山清亮
9番	長谷部衡平	10番	中村浩道
11番	秋庭重樹	12番	佐々木貴史
13番	猪野桃夫	14番	齊藤憲次
15番	石井一也	16番	市原律子
17番	高橋芳和		

<事務局説明員>

事務局長	表谷拓郎	次長	岡本茂之
次長補佐	天野秦男	農地利用最適化推進班長	江上章子
農地保全班長	原田賢一	農地審査班長	小堀紀明
農地指導班長	長谷川隆之		

開 会 （ 午前10時00分 ）

議長
(長谷部会長)

ただいまより、令和2年度第6回千葉市農業委員会総会を開会いたします。

お手元の会議日程に従いまして、進行させていただきます。
本日の出席委員は、17人中17人で総会は成立しております。

それでは、議事に入ります。

はじめに、日程第1「議事録署名人の選出」ですが、議席番号順となっておりますので、私より指名いたします。

議席番号 3番 深谷 耕司 委員

議席番号 4番 齊藤 元治 委員

のご両名をお願いいたします。

続きまして、日程第2 議案第1号「農地法第4条の規定による許可申請について」及び議案第2号「農地法第5条の規定による許可申請について」を上程いたします。

事前審査第1班班長、ご説明をお願いします。

事前審査第1班
(高橋班長)

ご説明いたします。

議案第1号及び議案第2号第1項から第9項につきましては、現地調査を実施いたしましたので、その結果も併せてご説明いたします。

はじめに第1項です。

本案件は、議案第1号並びに議案第2号第1項から同号第6項は一体案件であるため、一括してご説明いたします。

議案書1ページから5ページをご覧ください。

お手元の資料1ページから4ページをご参照ください。

資料は位置図、公図、分筆予定図、土地利用計画図を添付しております。

本案件は、特定建築条件付売買予定用地とするため、所有権を移転するものです。

なお、分筆予定のため、同じ地番が複数で記載されています

が、すべての地番において、土地の一部ではなく土地の全部を転用する計画となっております。

申請土地は、J R 土気駅から北東に約 6 0 0 メートルに位置する農地です。

農地区分は、J R 土気駅から 1 キロメートル以内の農地であることから、第 2 種農地と判断しました。

現況は休耕地で、周辺は農地と住宅が混在しております。

被害防除は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

排水については、汚水は污水管に接続し、雨水は雨水浸透貯留槽にて流出抑制後、オーバーフロー分を側溝へ接続します。

他法令関係につきましては、都市計画法に該当し、現在手続き中です。

次に第 7 項です。

議案書 5 ページをご覧ください。

お手元の資料 5 ページから 7 ページをご参照ください。

資料は位置図、公図、土地利用計画図を添付しております。

本案件は、特定建築条件付売買予定地用地とするため、所有権を移転するものです。

申請土地は、京成幕張駅から北に約 8 0 0 メートルに位置する農地です。

農地区分は、申請地のうち、5 0 0 メートル以内に小学校と中学校があり、下水道管・ガス管が埋設された道路に接道する農地は第 3 種農地と判断し、その他の農地については、駅から 1 キロ以内にある農地であることから、第 2 種農地と判断しました。

現況は休耕地で、周辺は住宅が広がっております。

被害防除は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

排水については、汚水は污水管に接続し、雨水は雨水浸透施設にて流出抑制後、オーバーフロー分を側溝へ接続します。

他法令関係につきましては、都市計画法に該当し、現在手続き中です。

次に第 8 項です。

議案書 6 ページをご覧ください。

お手元の資料 8 ページから 1 0 ページをご参照ください。

資料は位置図、公図、土地利用計画図を添付しております。

本案件は、資材置場用地とするため、所有権を移転するものです。

申請土地は、千葉市立生浜小学校から東に約300メートルに位置する農地です。

農地区分は、水道管・下水道管が埋設された道路の沿道の区域で、申請地から500メートル以内に小学校と中学校があることから第3種農地と判断しました。

現況は休耕地で、周辺は農地と住宅が広がっております。
被害防除は、フェンスを設置し、土砂の流出を防止します。
排水については、雨水を自然浸透で処理します。

次に第9項です。

議案書6ページをご覧ください。

お手元の資料11ページから13ページをご参照ください。

資料は位置図、公図、土地利用計画図を添付しております。

本案件は、太陽光発電施設用地とするため、所有権を移転するものです。

申請土地は、千葉東インターチェンジから北東に約1.7キロメートルに位置する農地です。

農地区分は、農業公共投資の入っていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地と判断しました。

現況は休耕地で、周辺は農地と住宅が混在しております。

被害防除は、緩衝地を設けることにより、土砂の流出を防止します。

排水については、雨水を自然浸透で処理します。

他法令関係につきましては、再生可能エネルギー特別措置法に該当し、認定済です。

次に第10項です。

議案書7ページをご覧ください。

お手元の資料14ページをご参照ください。

本案件は、専用住宅用地とするため、所有権を移転するものです。

申請土地は、花見川公民館の近隣に位置する農地です。

農地区分は、水道管・下水道管が埋設された道路の沿道の区域で、申請地から500メートル以内に小学校と保育所があることから第3種農地と判断しました。

被害防除は、ブロックを設置し、土砂の流出を防止します。

排水については、汚水は汚水管に接続し、雨水は雨水浸透施設にて流出抑制後、オーバーフロー分を側溝へ接続します。

他法令関係につきましては、都市計画法に該当し、現在手続き

中です。

次に第11項です。

議案書7ページをご覧ください。

お手元の資料15ページをご参照ください。

本案件は、資材置場用地とするため、所有権を移転するものです。

申請土地は、千葉市立若松中学校から北東に約900メートルに位置する農地です。

農地区分は、農業公共投資の入っていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地と判断しました。

被害防除は、土盛及び木柵を設置し、土砂の流出を防止します。

排水については、雨水を自然浸透で処理します。

事前審査第1班としましては、申請内容等に特に問題は無いものと判断し、許可相当と意見決定いたしました。

説明は以上でございます。

議長
(長谷部会長)

ありがとうございました。

ただいまの、事前審査第1班班長の説明について、質問、意見等がございましたら、挙手をもって、お願いします。

橋本委員

議案第1号第1項についておたずねします。本申請は4条許可申請であり、自己の農地を転用申請するものです。本件申請において、議案書によれば、農地のすべての面積ではなく、一部の農地を転用申請していますが、これはどのような理由によるのでしょうか。

また、本件の議案書記載の転用理由において、特定建築条件付売買予定地としたい、とあります。私の把握している国からの通知などでは、建築条件付売買予定地という表記になっています。特定という表記は正しいのでしょうか。

事務局

本件転用事業においては、義務者所有土地について、開発行為を行うものですが、議案第1号第1項の土地については、進入路部分にあたり、義務者が自ら整備するため4条許可申請の手続きとなりました。

特定建築条件付売買予定地の用語については、国からの通知に

基づくものですので、後程、委員へご覧いただけるよう用意いたします。

梶本委員

議案第2号の第1項から第4項の権利者と議案第1号第1項の申請人が5人共同で開発行為を行う転用事業ととらえてよいでしょうか。

事務局

宅地部分は4社で転用事業を行い、土地所有者は進入路部分のみについて、2分の1の権利を持ち続けることとなります。

清宮委員

4社共同の事業として、その中でも中心となる事業者は誰になりますか。

事務局

議案第2号第1項の権利者になります。

議長
(長谷部会長)

他に質問、意見等無いようですので、採決いたします。
事前審査第1班班長の説明のとおり、許可することに賛成の方は、挙手願います。

議場

——— 挙手 ———

議長
(長谷部会長)

賛成全員でございますので、議案第1号及び議案第2号は許可と決定いたします。

次に、議案第3号「相続税の納税猶予に関する適格者証明願について」を上程いたします。

事前審査第1班班長、ご説明をお願いします。

事前審査第1班
(高橋班長)

ご説明いたします。

議案書の8ページをご覧ください。

第1項です。

若葉区高品町在住の農業相続人が、被相続人である父親が所有し耕作していた若葉区都賀5丁目の畑1筆、面積1,220平方メートルについて、相続税の納税猶予の特例適用を受けようというものです。

当該農地については、7月21日に竹下推進委員と事務局職員にて現地調査を実施しております。

第2項です

中央区大巖寺町在住の農業相続人が、被相続人である母親が所有し耕作していた中央区大巖寺町の畑2筆、合計面積961平方メートルについて、相続税の納税猶予の特例適用を受けようというものです。

当該農地については、7月22日に長谷川推進委員と事務局職員にて現地調査を実施しております。

第1項及び第2項ともに「相続人が相続税の納税猶予の特例適用を受けるための、被相続人及び相続人の要件を満たしている」ことを確認しました。

事前審査第1班といたしましては、特に問題はないものと判断し、証明書を発行することについて、承認相当と意見決定いたしました。

以上でございます。

議長
(長谷部会長)

ありがとうございました。

ただいまの、事前審査第1班班長の説明について、質問、意見等がございましたら、挙手をもって、お願いします。

橋本委員

納税猶予の制度趣旨からすると、終身営農が必須となりますが、これについて申請者への説明はされているのでしょうか。

事務局

理解したうえで、手続きは行われているはずです。

長谷川委員

相続税の額はわかりますか。

事務局

農業委員会では把握していません。

齊藤(憲)委員

第2項は経営開始年月日がかかなり古くなっているように見えますが、手続き上の申請期限などは問題ないのでしょうか。

事務局

一定期間内に申請することは必要です。本件についても、間に合った上での申請になっています。

議長
(長谷部会長)

他に質問、意見等無いようですので、採決いたします。

事前審査第1班班長の説明のとおり、許可することに賛成の方

は、挙手願います。

議場

——— 挙手 ———

議長
(長谷部会長)

賛成全員でございますので、議案第3号は許可と決定いたします。

次に、議案第4号「生産緑地に係る農業の主たる従事者証明願について」を上程いたします。

事前審査第1班班長、ご説明をお願いします。

事前審査第1班
(高橋班長)

ご説明いたします。

議案書の9ページをご覧ください。

第1項です。

稲毛区稲毛町に在住の方が所有している、同町の畑1筆、面積1,135平方メートルについて、買取り申出者本人が農業の主たる従事者であったことを、令和2年7月22日の現地調査により、伊原推進委員に確認していただきました。

買取り申出の事由は、農業従事者の「故障」によるものです。

次に、第2項です。

若葉区若松町に在住の方が相続した、同町及び同区西都賀4丁目の畑5筆、合計面積5,961平方メートルについて、買取り申出者の父が農業の主たる従事者であったことを、令和2年7月28日の現地調査により、竹下推進委員に確認していただきました。

買取り申出の事由は、農業従事者の「死亡」によるものです。

事前審査第1班といたしましては、特に問題はないものと判断し、証明書を発行することについて、承認相当と意見決定いたしました。

説明は以上です。

議長
(長谷部会長)

ただいまの、事前審査第1班班長からの説明について、質問、意見等がございましたら、挙手をもってお願いします。

深谷委員

故障とはどのような状況をいいますか。

事務局

本件については、心臓の病気があるとの内容で、医師の診断書の提出がありました。

議長
(長谷部会長)

他に質問、意見等ないようですので、採決いたします。
事前審査第1班班長の説明のとおり、承認することに賛成の方は、挙手願います。

議長

———— 挙手 ————

議長
(長谷部会長)

賛成全員でございますので、議案第4号は、承認と決定いたします。

次に、議案第5号「千葉市農用地利用集積計画（案）の決定について」を上程いたしますが、第1項の権利者である法人について、〇〇〇〇委員が代表理事を務めておられます。

農業委員会等に関する法律第31条により、委員は、自己に関する事項について、議事に参与することができない旨規定されていることから、はじめに、関係委員にご退室いただいた上で、第1項を審議、採決し、その後、関係委員に再入室いただき、第2項から第12項までを審議、採決することとします。

それでは、関係委員におかれましては、恐れ入りますが、ご退室をお願いします。

議長

———— 関係委員退室 ————

議長
(長谷部会長)

それでは、第1項について、説明をお願いします。

事前審査第1班
(高橋班長)

ご説明いたします。

本案件は、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、市長より農業委員会に対して、農用地利用集積計画案の適否についての判断を依頼されたものです。

10ページをご覧ください。

第1項は、緑区誉田町在住の方が所有する若葉区野呂町の畑4筆、合計面積22,483平方メートルを緑区誉田町所在の農地所有適格法人に所有権を移転するもので、権利者の作付品目は「落花生、茶、サツマイモ」です。

本計画（案）は、本市において基本構想に適合するとともに、権利者が経営農地の全てを効率的に利用し、必要な農作業に常時従事するものとして作成されたものです。

事前審査第1班といたしましても、利用権の受け手要件に適合

し、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると判断されるため、決定相当と意見決定いたしました。

説明は以上でございます。

議長
(長谷部会長)

ありがとうございました。

ただいまの、事前審査第1班の説明について、質問、意見等ございましたら、挙手をお願いいたします。

深谷委員

今回取得する土地と併せると、経営面積は約3倍になります。農業従事者は4名となっておりますが、申請地を取得後の農業経営に問題はないのでしょうか。

事務局

繁忙期には臨時雇用がされるとのことです。

議長
(長谷部会長)

他に質問、意見等ないようですので、採決いたします。

事前審査第1班の説明のとおり、決定することに賛成の方は、挙手願います。

議場

——— 挙 手 ———

議長
(長谷部会長)

賛成全員でございますので、第1項については、原案どおり決定いたします。

それでは、関係委員にご入室いただきます。

議場

——— 関係委員入室 ———

議長
(長谷部会長)

事前審査第1班班長、説明をお願いします。

事前審査第1班
(高橋班長)

ご説明いたします。

本案件は、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、市長より農業委員会に対して、農用地利用集積計画案の適否についての判断を依頼されたものです。

議案書の10ページをご覧ください。

第2項は、中央区亀岡町在住の方が所有する若葉区野呂町の田2筆、合計面積2,460平方メートルを若葉区古泉町在住の農家の方に所有権を移転するもので、権利者の作付品目は「水稲」です。権利者は高齢ですが、後継となる子が従事しています。

次に、11ページをご覧ください。

第3項は、緑区大椎町在住の農家の方が、木更津市清見台在住の方が所有する緑区越智町の田2筆、合計面積2,181平方メートルに賃借権を新たに設定するもので、設定期間は3年、権利者の作付品目は「水稻」です。権利者は高齢ですが、繁忙期には家族も従事しているとのこと。

第4項は、緑区大木戸町在住の農家の方が、稲毛区萩台町在住の方が所有する緑区越智町の畑2筆、合計面積4,588平方メートルに使用貸借権を設定するもので、設定期間は3年、権利者の作付品目は「キャベツ、大和芋、ニンジン」です。

12ページをご覧ください。

第5項は、花見川区さつきが丘在住の農家の方が、同区畑町在住の方が所有する同町の畑4筆、合計面積5,488平方メートルに賃借権を設定するもので、設定期間は3年、権利者の作付品目は「キュウリ、ナス、キャベツなど」です。

第6項は、花見川区畑町在住の農家の方が、同区検見川町在住の方が所有する同区畑町の畑1筆、面積1,143平方メートルに使用貸借権を設定するもので、設定期間は10年、権利者の作付品目は「ほうれん草、キャベツ、ブロッコリー」です。従事者は1名ですが、繁忙期には家族も従事しているとのこと。

13ページをご覧ください。

第7項、第8項は、権利者が同一のため一括してご説明します。若葉区富田町在住の農家の方が、同町在住の方、他1名が所有する同町の畑5筆、合計面積14,436平方メートルに賃借権を設定するもので、設定期間は10年、権利者の作付品目は飼料用トウモロコシです。

14ページをご覧ください。

第9項は、稲毛区稲毛町在住の農家の方が、若葉区高品町在住の方が所有する同町の畑2筆、合計面積6,061平方メートルに賃借権を設定するもので、設定期間は10年、権利者の作付品目は「枝豆、里芋」です。従事者は高齢ですが、後継となる子が従事しています。

第10項から15ページの第12項は、農地中間管理機構の千葉県園芸協会が実施する農地中間管理事業に係る案件です。うち第10項は一括方式の農地中間管理事業です。

第10項は、緑区あすみが丘東在住の農家の方が、若葉区若松町在住の方が所有する同区中野町の畑2筆、合計面積10,412平方メートルに使用貸借権を設定するもので、設定期間は10年、権利者の作付品目は「大根、ニンジン、里芋」です。

15ページをご覧ください。

第11項、第12項は、2段階方式の農地中間管理事業に関する案件のため、一括してご説明します。

花見川区武石町在住の方、他1名の所有する同町及び緑区高田町の畑2筆、合計面積4,790平方メートルに賃借権を設定するもので、設定期間は10年です。

第11項、第12項は、農地中間管理機構が作成する議案第6号の「農用地利用配分計画案」に基づいて、千葉県の認可を経て貸付けられます。

第1項から第12項の合計面積は、74,042平方メートルです。

本計画(案)は、本市において基本構想に適合するとともに、権利者が経営農地の全てを効率的に利用し、必要な農作業に常時従事するものとして作成されたものです。

事前審査第1班といたしましても、利用権の受け手要件に適合し、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると判断されるため、決定相当と意見決定いたしました。

説明は以上でございます。

議長
(長谷部会長)

ありがとうございました。

ただいまの、事前審査第1班の説明について、質問、意見等ございましたら、挙手をもってお願いします。

深谷委員

第4項、第6項、第10項については賃料の記載がありません。これについて、何か理由はあるのでしょうか。

また、賃料の記載があるものについてですが、その金額にはばらつきがあります。規準は設けていないのでしょうか。特に、第2項の坪あたり134円という額は非常に安く感じます。

事務局

使用貸借権の設定となっているものは、賃料は0円になります。

賃料は、毎年参考として平均値の公表はしていますが、基準値としての拘束をするものではありません。

第2項は、義務者と権利者で長年、賃貸借の関係を続けており、そのお付き合いの中で廉価の売買金額の設定となったと聞いております。

議長
(長谷部会長)

他に質問、意見等ないようですので、採決いたします。

事前審査第1班の説明のとおり、決定することに賛成の方は、挙手願います。

議場

—— 挙 手 ——

議長
(長谷部会長)

賛成全員でございますので、第2項から第12項についても、原案どおり決定といたします。

次に、議案第6号「農用地利用配分計画（案）の意見について」を上程いたします

事前審査第1班班長、説明をお願いします。

事前審査第1班
(高橋班長)

ご説明いたします。

議案書の17ページをご覧ください。

本案件は、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定により、議案第5号第11項、第12項でご審議いただきました中間管理権取得予定農地を、農地中間管理機構である千葉県園芸協会が、経営規模の拡大等を希望する担い手へ貸し付けるため、市長より農業委員会に対して、農用地利用配分計画（案）について、意見を求められたものです。

中間管理事業の手続きにつきましては、貸し手と機構、機構と借り手の2段階の貸し借りの手続きをまとめて行う一括方式が導入されたところですが、本案件は、これらの手続きを2段階に分けて行う従来方式の後半部分にあたります。

意見聴取後、農用地利用配分計画の県の認可を受け、機構と借り手の貸借が成立します。

第1項は、花見川区武石町の畑1筆、面積991平方メートルを、同町の農家の方に貸借権を設定するもので、期間は、県の認可・公告の日から令和12年8月31日までの約10年間、権利

者の作付品目は「ニンジン、キャベツ、ネギなど」です。

第2項は、緑区高田町の畑1筆、面積3,799平方メートルを、同町の農家の方に賃借権を新たに設定するもので、期間は、県の認可・公告の日から令和12年8月31日までの約10年間、権利者の作付品目は「ニンジン、小松菜、小カブ」です。

従事者は1名ですが、繁忙期には子が従事しています。

事前審査第1班といたしましても、本案件は、「農地中間管理事業の推進に関する法律」第18条第4項各号に規定する要件を満たしているものと判断いたします。

説明は以上でございます。

議長
(長谷部会長)

ありがとうございました。

ただいまの、事前審査第1班の説明について、質問、意見等ございましたら、挙手をもってお願いします。

議場

——— 質問・意見等なし ———

議長
(長谷部会長)

質問、意見等ないようですので、採決いたします。

事前審査第1班の説明のとおり、決定することに賛成の方は、挙手願います。

議場

——— 挙 手 ———

議長
(長谷部会長)

賛成全員でございますので、議案第6号は、「意見なし」と決定いたします。

以上で審議案件は終了しましたので、報告案件について、第1号から第7号までを一括して上程いたします。

事務局より説明願います。

事務局

報告案件について、ご説明いたします。

議案書の19ページをご覧ください。

報告第1号「農地法第3条の規定による許可処分の取消願いについて」は、許可処分を受けた当事者が当該許可処分の取消を受けようとするもので、1件ございました。

添付書類も含め完備しておりましたので、取消許可指令書を交付いたしました。

議案書の20ページをご覧ください。

報告第2号「農地法第3条の3の規定による届出について」は、相続等により農地の権利を取得した旨の届出があったもので、議案書の21ページまでに4件ございました。

添付書類も含め完備しておりましたので、全項受理通知書を交付いたしました。

議案書の22ページをご覧ください。

報告第3号「農地法第4条第1項第8号の規定による届出について」は、市街化区域内の農地を転用するため、その旨の届出があったもので議案書の24ページまでに20件ございました。

内容につきましては、記載のとおりでございます。

添付書類も含め完備しておりましたので、全項受理通知書を交付いたしました。

議案書の25ページをご覧ください。

報告第4号「農地法第5条第1項第7号の規定による届出について」は、土地所有者以外の者が市街化区域内の農地を転用するため、その旨の届出があったもので、

議案書の29ページまでに28件ございました。

内容につきましては、記載のとおりでございます。

添付書類も含め完備しておりましたので、全項受理通知書を交付いたしました。

議案書の30ページをご覧ください。

報告第5号「農地法第18条第6項の規定による通知について」は、農地所有者と借り手の耕作者の双方の合意による賃貸借の解約について農業委員会に通知するもので、2件ございました。

添付書類も含め完備しておりましたので、通知を受理いたしました。

議案書の31ページをご覧ください。

報告第6号「地目変更登記に係る照会に対する回答について」は、議案書の32ページまでに9件ございました。

申請地の現況について、農地であるか非農地であるか法務局から照会があったもので、農業委員による現地調査を行いました結果、いずれも、内容につきましては、記載のとおりであり、法務

局に回答済みでございます。

続きまして、議案書の33ページをご覧ください。

報告第7号「千葉県農業会議への諮問に係る答申について（第5条）」は、議案書の34ページまでに19件ございました。

内容につきましては、7月の総会で審議されたもので、7月16日に千葉県農業会議より「許可相当」との回答があり、許可指令書を交付いたしました。

報告案件につきましては、以上でございます。

議長
(長谷部会長)

ただいまの報告第1号から第7号について、質問、意見等がございましたら、挙手をもってお願いします。

橋本委員

報告第1号について、取消理由が、農地所有適格法人としての要件を維持するのが困難となっています。これについて詳しく教えてください。

また、許可を受けた権利の内容は所有権移転であり、売買が成立している状態で、本件取消を行うことは、権利者と義務者の間で今後、どのような手続きが行われていくのかを教えてください。

事務局

農地所有適格法人の場合、売り上げの過半が農業関連である必要があります。本権利者は、飲食業を営んでおりその売り上げが好調であるため、要件を具備しなくなる恐れがあることとなりました。

そこで、別法人を設立し、改めて許可申請を行う予定です。

橋本委員

平成30年に当初許可を行い、再度の申請が行われることになるということですが、その申請の信頼性はどのように考えられますか。現地の状態もかつてより、荒れてきているようです。

事務局

新規の申請として、所定の申請書を提出させて、事前審査会での面接も行います。

議長
(長谷部会長)

他に質問、意見等無いようです。

これらは報告案件でございますので、ご承認いただきたいと思います。

じます。

以上をもちまして、令和2年度第6回千葉市農業委員会総会を閉会いたします。

委員の皆様には、大変お忙しい中、慎重審議を賜りまして、ありがとうございました。

閉 会 （午前11時10分）